

教科名		科目名	学科・学年・類型	単位数
芸術		書道 I	普通科・1学年	2
教科書	[主たる教材] 書 I (光村図書)			
副教材等	[副教材] なし			

1 学習目標

書の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ①知識、技能の習得に向けて
基礎となる「漢字の書」と「仮名の書」に取り組み、用筆法の習得を図る。
- ②思考力、判断力、表現力の育成に向けて
「漢字仮名交じりの書」に取り組み、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構成し、表現することを目指す。
- ③学びに向かう力の涵養に向けて
様々な制作活動等を通じた、社会適応力、自己分析力、主体的実行力等の育成

3 学習計画

月	単元名	教材	学習内容 (指導内容)	時間	評価方法
4月	オリエンテーション	書写から書道へ	書道について 文房四宝について	2	プリント 授業の取組
5月	「漢字の書」 臨書 (楷書)	九成宮醜泉銘 牛橛造像記 雁塔聖教序 顔氏家廟碑	古典作品の臨書、鑑賞を通して、楷書の規範、典型と技法を学ぶ。 同じ書体の中での書風の違いやその多彩な美を感じることで、表現力の基礎を身に付ける。	8	作品内容 制作カード 授業の取組
6月 7月	「漢字の書」 創作	自選自句二文字作品制作	これまで学習してきた古典をもとに表現を構想し、自らの表現意図を実現するため工夫し制作する。 (半切1/2)	12	作品内容(紙面構成) 制作カード 授業の取組 相互批評
9月	「漢字の書」 創作	公募展作品制作	これまで学習してきた古典をもとに表現を構想し、自らの表現意図を実現するため工夫し制作する。 (半紙)	6	作品内容 授業取組
10月	「漢字の書」 篆刻	姓名印の制作	印の使い方や種類を知り、篆刻に必要な用具と使い方を理解する。文字の配置や刻法に気をつけながら、篆書の姓名印を刻す。	10	作品内容 制作カード 授業の取組
11月	「漢字の書」 臨書 (行書)	蘭亭序 風信帖	各古典の臨書、鑑賞を通して芸術性と実用性を兼ね備えた行書の多彩な美を学ぶ。 行書の特徴や美を探究し、様々な技法を習得することで、表現力を高めるとともに、日常の書写能力をの向上につなげる。	6	作品内容 制作カード 授業の取組
12月	「仮名の書」 臨書	蓬萊切	仮名の成立と種類について学ぶ。 仮名の基本的な知識を理解し、筆使いを習得する。	8	作品内容 制作カード 授業の取組
1月	「仮名の書」 創作	散らし書き	行書きと散らし書きの違いを理解する。 散らし書きの構成方法を知り、技法を理解する。 仮名の基礎をもとに、紙面構成を考えながら制作する。	4	作品内容(紙面構成) 制作カード 授業の取組
2月 3月	「漢字仮名交じりの書」 創作	語句・詩文の作品制作	「漢字の書」・「仮名の書」の学習を通して得た知識・技能を十分生かし身近な語句や詩文を使って自己表現する。	8	作品内容(紙面構成) 制作カード 授業の取組 相互批評

計 64 時間(55分授業)

4 課題・提出物等

作品
制作カード

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創作活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構成し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ

- ・作品内容(テーマ・字形・線質・用運筆)
- ・制作カード
- ・取組姿勢
- ・相互批評

などから、総合的に評価します。

6 担当者からの一言

小・中学校での国語・書写から一転、芸術・書道での学習として様々な表現力を身に付け、鑑賞の能力を伸ばしたいと計画しています。まず書の古典を学び、先人の思いを追体験すること(臨書)で、次段階の創作に発展させていきます。より多くの現代の書表現に触れながら、書が自己表現の一つであることを知り、より深く、豊かな感性を養っていくことが大きな目標です。(担当：柳 美和)